

12. ロータリーはどこへ? ——21世紀のロータリーは何で以て人々の心を捉えるのか——

ロータリーの目的と自分の人生の目的のベクトルを合わせる生き方

最初のコラムで、なぜあなたはロータリーに入会したのかと言う質問について私なりの答えを書かせて戴きました。一言で言えば、何となく仕方なく入会したロータリーかもしれませんが、折角縁あってロータリークラブに入ったのですから、少しでもロータリー活動に積極的に参加し、ロータリーモーメントを体験することによって、自分の人生を豊かにしていくことではないでしょうかと言う結論でした。

最終回の今回は、もう一步進めて、それでは自分の人生にとってロータリーは一体何だろうか。何故ロータリアンであり続けなければならないのか。

毎日仕事で忙しいのに、ロータリーでいろんな役まで貰って、高い会費まで払い、毎週例会に出掛けるのは何故なのか。ロータリーに入会しても、別に税金が安くなる訳でもありません。それなのにロータリーに留まる理由は一体何なのかを考えてみたいと思います。

結論から先に申し上げますと、私たちがロータリーに魅力を感じ、ロータリアンであり続ける理由は、ロータリーの理念というかロータリー運動目的が、実は私たちの人生の目的そのものと深く関係するからではないだろうかと言うのが、私が得た結論でした。

ところで、私たちの人生の目的とはそもそも一体何でしょうか。京セラの稲盛名誉会長は次のように述べています。

『会社を成功させて有名になったり、お金持ちになったり、そんなことのために人生があるのではない。人生を生きる意味とは、まさに自分の魂を磨くことにある。死ぬときに、生まれた時に持ってきた魂よりも少しでも美しい姿にして、新しい魂の旅立ちを迎えるためである。此の事が人生を生きてきた価値であり、目的ではないだろうかと思いついたのです。人生の目的とは、心を高めることです。心を純化する、心を浄化する、人間性を高める、人格を高めることなのです。』そして、そのためには、世のため人のために尽くすこと、利他の心を持つことが心を高めることであり、人生の目的なのだと言われています。

『人生2度なし』これは森信三先生の言葉です。

森先生は、「人はこの世に生れ落ちた瞬間、全員が天から封書をもって生まれてくる。その封書を開いたら、あなたはこういう生き方をしなさい、と書いてある。しかし、せっかく天からもらった封書を一回も開かないままで死んでいく人が多い」と仰っておられます。自分の人生の目的を気付くということがまず大切であるということだと思えます。

そして、それゆえ、その『たった一度の人生』を、精の限り、魂の限り、一所懸命努力を重ね、そしてその成果を周囲の人たちや、いや地球人類のために使っていこうという利他の心が大切になるのではないかと思うのです。一度きりの人生をどう生きるのか、大げさに言えば、この命題に対する自分なりのヒントを与えてくれるのがロータリー運動の目的ではないかと考えております。

仏教では、そのような悟りを開くために、六波羅蜜の6つの修行が必要とされます。そして、その最初に挙げられるのが「布施」です。布施とは施しをすることであり、世のため人のために尽くすということです。お坊さんに寄付をすることだけが布施ではありません。人を助け、人のために尽くしてあげることが布施です。つまり、ロータリーの奉仕理念に通じる言葉ではないかと思えます。

六波羅蜜には、あと「持戒」「精進」「忍辱」「禅譲」「智慧」がありますが、紙面の関係上、省略させて戴きます。

勿論、ロータリーは宗教でもありませんし、お坊さんのような厳しい修行を行うところでもありません。ただ、そのような厳しい悟りの境地を極めるための修行の代わりに、ほんの少しでも心を高めることに近づけるのが、奉仕理念の研鑽と実践であろうと思うのです。

たとえ、大変さやかな地道な小さな奉仕活動であったとしても、黙って黙々と人のために世のために汗を流すことは、自分を磨くことなのだと思えます。

更にもっと大きな感動を得るような、大規模な人道的な奉仕活動であれば、無償の奉仕であ

れば尚更のことだと思えます。

『人の価値とは、その人が得たものではなく、その人が与えたもので測られる。他人のために尽くす人生こそ、価値ある人生だ』20世紀最大の物理学者と称される理論物理学者「アインシュタイン」の言葉です。

人生の価値観はさまざまだが、他人から評価されて初めて己の価値に気づくこともあります。自分の生き様を確かめるために他人に尽くすのも、これまた人生かもしれません。また、単に自分のための利己的な努力と、他人の幸せのためにする努力とを比べた場合、確かに他人のために行う努力は、そのパワーは比べものにならないほど力強く、すがすがしいものに感じます。人は皆、本来そのような能力を持って生まれたものであり、人のために尽くすことが、人間にとって本来最も自然な姿なのかもしれません。

私は、特に、このような見返りを求めないロータリー運動を立派な企業人が先頭に立って行う事に大きな意味があると考えています。

自らの職業や事業所においても、地域社会においても、さらには世界の困難な地域においても奉仕活動することによって、自らの魂を磨くと共に、ロータリアン自身の周りの人たち（社員や取引先や業界など）にも大きな影響を与えることができます。これがまさにロータリー運動の真髄ではないでしょうか。

このようなことを述べると、人類が皆お釈迦様やキリストのような無欲な聖人ばかりだったら、人類の発展はないのではない。やはり適度な欲望（財欲、色欲、食欲、名誉欲、睡眠欲を五欲）と言うものが人類の発展や進化に欠かせないものだと言われる方もおられるかもしれません。

確かに一時的にはそういう面もあるのかもしれませんが、私は長い目で見れば、そのような欲望、つまり自分だけ良ければよいというエゴ（本能心からの強い思い）が出てくると、それを達成するには、必ず他人を踏み台にしたり周囲を犠牲にしながら成功していくものであり、そうなると一時的には成功しても、必ずその反作用のためいつかは凋落していくと思えます。

一方で、もっと高い次元のところ、言い換えれば、キリスト教的な愛、仏教社会における慈愛の心をベースにした場合には、その思いが強ければ強いほど、結局持続的な繁栄もするものだと思います。

別に大上段に振りかぶった崇高な理念ではなくとも、人間はより高いレベルの人生観を持つべきだと考えています。人間として正しい事を基準として、物事の判断をすべきであるということだと思います。それは損得勘定でもなければ、戦略戦術論でもありません。正しい道を歩くということであり、倫理観が欠落しているような会社は永続発展出来ないと思えます。

米山梅吉翁が『ロータリーの例会は人生の道場』だと語っていたと言われていますが、その真偽は別として、ロータリー運動に参加し、他の人のために無償の奉仕を積むことは、いつの日か自分自身に帰ってくることなのです。その意味でまさに人生の道場と言っても過言ではないかもしれません。

袁了凡の陰騭録（いんしつろく）の中にも、『運命を変えるにはどうすれば良いのか』と言う問いに、老師は『善きことを行うこと』だと答えたと言われています。

つまり、善行を重ねることにより、自分の運命が変わっていくとすれば、これにロータリー運動の結果的な素晴らしい効用かもしれません。

こう考えますと、ロータリー運動に参加し、奉仕理念を実践することは、利他の心を養うことであり、それは人生の目的である『心を高め魂を磨く』ことに繋がっていき、結果的にそれは自分の人生の運命そのものを変えてしまうということになるのだと思えます。

最後に、マザー・テレサも感銘したと言われる、逆説の10カ条を御紹介し最後のコラムを終えたいと思えます。

一年間に亘りこのコラムにお付き合いを戴き本当に有難うございました。このコラムが皆様にとりまして、少しでもロータリーを考えるきっかけとなったならば、これに勝る喜びはありません。皆様にご心より感謝を申し上げ、筆を置きたいと思えます。有難うございました。

（引用文献：稲盛和夫 成功の要諦）

逆説の 10 カ条

- ・人は不合理で、わからず屋で、わがままな存在だ。それでもなお、人を愛しなさい。
- ・何か良いことをすれば、隠された利己的な動機があるはずだと人に責められるだろう。それでもなお、良いことをしなさい。
- ・成功すれば、うその友だちと本物の敵を得ることになる。それでもなお、成功しなさい。
- ・今日の善行は明日になれば忘れられてしまうだろう。それでもなお、良いことをしなさい。
- ・正直で率直なあり方はあなたを無防備にするだろう。それでもなお、正直で率直なあなたでいなさい。
- ・最大の考えをもった最も大きな男女は、最小の心をもった最も小さな男女によって撃ち落とされるかもしれない。それでもなお、大きな考えをもちなさい。
- ・人は弱者をひいきにはするが、勝者の後にしかついていない。それでもなお、弱者のために戦いなさい。
- ・何年もかけて築いたものが一夜にして崩れ去るかもしれない。それでもなお、築きあげなさい。
- ・人が本当に助けを必要としていても、実際に助けの手を差し伸べると攻撃されるかもしれない。それでもなお、人を助けなさい。
- ・世界のために最善を尽くしても、その見返りにひどい仕打ちを受けるかもしれない。それでもなお、世界のために最善を尽くしなさい。

The Paradoxical Commandments

1. *people are illogical, unreasonable, and self-centered. Love them anyway.*
2. *you do good, people will accuse you of selfish ulterior motives. Do good anyway.*
3. *you are successful, you will win false friends and true enemies. Succeed anyway.*
4. *the good you do today will be forgotten tomorrow. Do good anyway.*
5. *honesty and frankness make you vulnerable. Be honest and frank anyway.*
6. *the biggest men and women with the biggest ideas can be shot down by the smallest men and women with the smallest minds. Think big anyway.*
7. *people favor underdogs but follow only top dogs. Fight for a few underdogs anyway.*
8. *as you spend years building may be destroyed overnight. Build anyway.*
9. *people really need help but may attack you if you do help them. Help people anyway.*
10. *give the world the best you have and you'll get kicked in the teeth. Give the world the best you have anyway.*

「生涯の旅路」

私は私の一生の旅路において今日というこの道を再び通ることはない
二度と通ることはない。二度と通らぬ今日というこの道
どうしてうかうか通ってなろう。笑って通ろう、歌って過ごそう
二度と通らぬ今日というこの道、嘲笑されてそこで反省するのだよ
叱られてそこで賢くなるのだよ。叩かれてそこで強くなるのだよ
一輪の花でさえ風雨をしのいでこそ、美しく咲いて薫るのだ
侮辱されても笑って受け流せ。 蹴倒されても歯をくいしばって忍べ
苦しいだろうくやしいだろう。
しかし君、この道は尊いと言われた人たちが必ず一度は通った道なんだ

(作者不明の詩)

— 『ポケット名言集「小さな人生論」』(藤尾秀昭) より